

大垣真宗学院同窓会 上山奉仕団

学院同窓会は今年も八月二十九、三十、三十一日の三日間、学院の上山研修に合わせて、十名が同窓会奉仕団として上山しました。

二十九日夜、学院生と同朋会館で合流し、三日にかけて、大谷大准教授の三木彰円先生みきあきまるから三回に分けて講義いただきました。



三木先生は、先の宗祖七五〇回御遠忌の記念事業として行われた宗門所蔵の親鸞聖人御真筆「顕淨土真実教行証文類」（坂東本）のご修復と、研究にご尽力されました。

今回の講義は、坂東本を通して伝わってくる宗祖の教行信証撰述への思い、五十二歳ごろから晩年にいたるまで推敲を続けられた痕跡などをプロジェクターで分かりやすく解説していただきました。

座談は鷹橋賢由

先生に班担をしていただき、懐かしい雰囲気の中、大いに仏法談義をしました。

また、完成したばかりの「しんらん交流館」で日曜講演を聴聞した後、

かつて学院で教鞭をとっていたこともある里雄康意宗務総長から交流館開館の願いや宗門の進む方向などについて、ご説明いただきました。



出迎えて下さった里雄総長



同窓会奉仕団参加者より



沼田 登喜子さん
(東京教区 二〇一二年卒)

二〇〇六年夏季集中コースに入学。駅前のホテルを常宿に通学を開始した頃の私は、身の上起こった突然の出来事に「不安と孤独」とで全力疾走状態の日々を送っていました。念仏の意味も解らず、仏教の専門用語に振り回されながら、やがて何か掴める時が来ると信じるのみでした。

卒業間近、仲間が修練の話題をしているのを横目に、こんな自分が修練を受ける資格があるのか？と躊躇していました。そんな時「ここは教師の資格を取る所だよ」と背中を押してくれた仲間がいました。そうです！こんなモヤモヤした状態で卒業しても親鸞聖人の教えに気付かされていない！自分を何とかしなければ！と急いで得度を受け修練に挑みました。そして煩惱で何も見えずに生きている愚かな自分を知るきっかけを与えていただきました。

「知識ではない、でも気付くために必要な知識です」と教わったことがこれだったのか！と思いましたが。

OGになってからの上山研修は、本山の凛とした空気と聞法・講義での新たな気付きをいただき、同朋と語って更に深め合う大切な場であります。

今回の三木彰円先生の講義からは、親鸞聖人が如来に突き動かされた様に釋尊の教えを正しく解き明かし伝えて行こうとするお姿を感じました。聖人のお心をこの様に受け止め、新たな気持ちで教行信証を開いて行こうと思います。断ち切れぬ煩惱を抱えながらも気付きに出遇えた有り難さを感じて本山を後にしました。そしてこの様な研修を企画して下さる諸先生方に感謝申し上げます。

合掌



松井 将司さん

(岐阜教区 二〇一四年卒)

今年も行ってきました。同窓生上山奉仕団。あいにくの天気でしたが、本山に着くとなんだか安心し、同朋会館に入ると久しぶりにお逢いする先生方や学生方の雰囲気にはっとします。近年私の

夏は、慌ただしいお盆を勤めた後、上山して夏が終わって行く生活をしております。

今年のご講義は大谷大の三木先生による教行信証についてでした。普段からお勤めしている正信偈ですが、自坊にて日々の暮らしに埋没してしまい、お勤めもただお勤めするだけになってしまっています。お念仏の道を歩ませていただいているという自覚が薄れております。今回の講義であらためて親鸞聖人が私たちに残されたお心に触れることができ、背筋が伸びる思いです。講義は学院生のためなので丁寧で解かりやすく、私が学生だったころはただ時間が過ぎるのを耐えていただけでしたが(笑)。今は実際法務に出ており、教えが現場で生かされるためかとても興味深く聴聞できます。

また同朋会館での生活は、世俗のことは忘れて教えだけ考えて自己を見つめ直す、これはストレス解消になりますね。また参加したみなさんと世代を超えて朋として接しさせて頂くことで、念仏に対する姿勢や深い考えをお聞きしたり、たわいもないことや俗っぽいことも色々話ができ、楽しい限りです。私としては今後もっと多くの方と同朋として出遇いたいと思いますので、お時間作っ

て頂き、一緒に上山研修いきましたよ。



学院生と共に聴講しました

おしらせ

二〇一六年も同窓会奉仕団を企画しますが、同朋会館が改修工事に入るため、来年は宗祖の御旧跡巡りを併せた新潟方面への研修となる予定です。日程は九月二日(金)、三日(土)、四日(日)です。詳細は、次回の総会とともにご案内させていただきますので、どうぞご期待ください。今からご予約していただきますよう、宜しく願います。

同窓会からの報告

◇越後研修に参加

昨夏の同窓会上山奉仕団でご講義をいただいた高田教区教化研鑽室長の井上 円先生いのうえ まどか浄泉寺住職Ⅱのご縁で「越後研修」が企画され、学院生と同窓生の有志、指導の先生方計三〇人で三月二十四日からの一泊二日で行ってまいりました。

当日は彼岸過ぎというのに非常に寒く、東海北陸道、北陸道をバスで進むと周囲はすっかり雪景色に。七時間ほどかかって宗祖が初めて越後の土を踏まれた上越市の居多ヶ浜に着くと、待っていたのは傘も吹き飛ばされてしまうほどの横殴りの猛吹雪でした。暗く激しい波しぶきの浜の風景でしたが、宗祖の御苦労をしのぶには最高の天候でした。



えしん尼の里

その後、流罪赦免の際に宗祖自ら写されたという「御満悦の御真影」や流人表札などが伝わる光源寺などを参拝し、宿泊はお内仏のある宿として有名な赤倉温泉の「赤倉ホテル」。背丈以上もある根雪に迎えられ、体の芯まで温まる温泉とおいしい夕食でホッと一息し、和やかに親睦を深めま

した。

朝起きるとさらに

新雪が積もって一面の銀世界に驚きながら、お内仏でおあさじをお勤めし、井上先生のご法話をいただきました。その後、恵信尼公のお墓と伝えられる五輪塔がある「えしん尼の里」や浄興寺などを拝観し、帰路につきました。寒さと雪に震えながらの越後研修となりましたが、宗祖が過ごされた越後の五年間を身近に感じることができ有意義な研修となりました。



宗祖が上陸された居多ヶ浜



浄興寺で記念撮影

◇本年度総会におきまして二〇一四年度の事業報告並びに会計報告、募金事業報告、二〇一五年度の事業計画と予算案の承認をいただきました。

2014年度会計報告

収入	前年度繰越金	1,882,602
	終身会費	120,000
	総会参加費	160,000
	助成金	8,400
	募金事業預り金	10,000
	利息等	32
収入計		2,181,034
支出	会議費	252,378
	事業費	190,946
	事務運営費等	58,924
支出計		502,248
次年度繰越金		1,678,786

2015年度予算概要

収入	前年度繰越金	1,678,786
	終身会費	200,000
	総会参加費	180,000
	募金事業預り金	10,000
	利息	80
収入計		2,068,866
支出	会議費	260,000
	事業費	40,000
	事務運営費等	94,000
	募金事業預り金	10,000
	予備費・慶弔費	40,000
次年度繰越金		1,624,866

2014年度募金事業報告

収入	寄付金 290件	10,075,000
支出	寄贈品購入費	3,252,312
	学院施設整備費へ	6,277,688
	学院施設整備費へ	535,000
	同窓会通帳預り	10,000
合計		10,075,000

第九回同窓会総会のご案内

二〇一六年六月四日(土)午後から学院新学舎等で開催します。まだ新学舎を見ておられない同窓生のみなさん、この機会に是非、新しい学舎を見学し、楽しいひとときを過ごされませんか。

ぜひご参加お待ちしております。